

# おたる 西別院だより

## 報 恩 講 号

▶ 双葉高校参拝（3年生）



▼ 報恩講のお荘厳（おかざり）



▲ 三園（小樽幼稚園・若竹保育所・新光保育園）参拝



◀ 報恩講御満座

◎写真は、平成15年度の報恩講です。

平成16年度小樽別院ご遷仏を10月13日（水）・報恩講法要を10月14日（木）より16日（土）までお勤めいたします。

・若竹説教所の報恩講は、9月5日（日）にお勤まりいたしました。

<b>報 恩 講</b>	9月27日（月）	仏教婦人会	報 恩 講
	10月 3日（日）	緑 説 教 所	報 恩 講
	10月23日（土）～24日（日）	新 光 説 教 所	報 恩 講
	11月 6日（土）～ 7日（日）	奥 沢 説 教 所	報 恩 講
	11月	仏 教 青 年 会	報 恩 講
	12月中旬	仏 教 壮 年 会	報 恩 講

10月12日（火）より16日（土）まで、月忌参詣をお休みさせていただきます。

# あえてよかつた



輪 番 岩 間 行 則

着任以来、半年がアツという間に過ぎ、報恩講の季節を迎えました。

おかげさまで、暖かい皆様方のご指導の中に北海道の生活にも慣れ、健康に恵まれて過ごさせて頂いております。

「一期一会」とは茶道の極意ともいわれ、一生に一度の思いで茶の湯に臨むほどの覚悟をもって席に着くという意味を持っている「仏教語」でもあります。不思議なご縁の中に、「小樽の人」に会わせて頂きました。

「あえてよかつた」と、味わうこの頃です。さて、毎日のニュースで流れてくる出来事は、胸の痛むような事件ばかり。「いのちの尊さ」が、破壊されております。

お互いにとつて、この「いのち」は正にかけがえない「いのち」であるはずです。

ご門主様は「教書」の初めに、「宗教は、人間のかかえている究極的な問題、すなわち老病死の苦悩の解決にかかわるものであります。釈尊が出家される機縁になったのもその問題であり、老・病・死が迫っている事に気付く時、人間は今ここに生きている事の意味を問わずには居れません。この問題を解決しようとするところに、宗教の根本的な意義があります。」と、お述べになつておられます。私たちの活動は、「いのちのめざめ」に向かつて、み法に問い、み法に聞いていく営みです。いま正に「いのち」が問われている時であります。

## あるお寺の掲示板

◎ たくさんいのちを頂いて

生かされている私たち  
手を合せて いただきます  
手を合せて ごちそうさま  
頂いたこのいのちを 大切にしたい

## ◆小樽別院へ遷仏法要日程表◆

期 日	時 間	法 要 ・ 行 事	★仮本堂へ本堂
十三日(水)	十一時三十分	○十一礼作法 庭儀	仮本堂
	十三時三十分	○正信念仏偈作法(第二種) 婦敬式(おのみそり)	本堂

## ◆宗祖親鸞聖人報恩講法要日程表◆

期 日	時 間	法 要 ・ 行 事	★本堂
十四日(木)	九時十五分	○双葉高校参拝(3学年)	
	十時三十分	○三園合同参拝	
	十三時三十分	○連夜(奉讃大師作法) 御伝鈔上下巻拜読	布教一席 野瀬師
	十八時	○初夜(日没礼讃偈) 祖徳讃仰	崇敬法中(三十分) 布教一席 野瀬師
十五日(金)	六時三十分	○晨朝(正信偈行讃六首引) 和讃「尊者阿難」	布教一席 野瀬師
	十時	○日中(十一礼作法)	布教一席 野瀬師
	十三時三十分	○連夜(奉讃大師作法) 御俗姓拜読	布教一席 野瀬師
	十八時	○物故者追悼法要 祖徳讃仰	崇敬法中(三十分) 布教一席 野瀬師
十六日(土)	六時三十分	○後夜(讃仏偈) ○晨朝(正信偈行讃六首引) 和讃「弥陀成仏」	布教一席 野瀬師
	十時	○満日中(報恩講作法) 代表焼香・御礼言上	布教一席 野瀬師

講師／浄土真宗本願寺派布教使

野瀬 善隆 師

## 私にとっての基幹運動

花坂 一恵

以前の私は、お寺は、お葬式と法事をする所、お骨をお納めする所。お坊さんは、お経をあげて下さる人と思っておりました。

ご法話を聴聞するのと同時進行で、各種研修会や大会に参加させていただき、伝道活動の他に、み教えを通して、非戦・平和、差別問題、人権・環境問題等に、宗門をあげて取り組んでいる事を知らされました。基幹運動と言います。

その運動者、推進者は、『門徒の一人一人、この私自身である』と言われ、『み教えに問い、聞き、生きる』とも『できる事を、できるところから始める事だ』とも言われましたが、研修を受けている間は、わかったよくなつてもいなくなるのですが、会場を出た途端、運動者も、できる事も消えてなくなるのです。わからなのままなのです。それでも聴聞と研修は続けました。

この頃、少しずつですが、『基幹運動の実践』って、決して難しい事でも、大きな事業をする事でもなかったのだと気づかせていただけのようになりまして。私自身の内なる面においては、聴聞を続ける事であり、聴きえた喜びを、まず我が家、我が

家族から伝える歩みが、基幹運動の第一歩であると、頂く事ができました。外なる面においては、この度、五十才までの女性を対象とする、『仏教ガヤガヤ会』の立ち上げに参加させていただく事になりました。

お盆やお彼岸に、亡くなった方達のために、お骨堂だけのお参りで、普段は、あまりお寺に入りのない若い世代の方達を対象とした会です。子育てや社会不安など一人で抱え込まず、『み教えを問



い、聞いてみるか？という表現もできる会です。

私は、お寺へ行つて初めて、人間に生まれられた本当の意味と喜びを知らされました。多くの『いちに支えられてあつた今日までの一日一日の重みが知らされました。『お寺』って、驚きと発見と感動と気づきと出遇の場だったのです。

内なる面も外なる面も、私一

## ◎基幹運動研修会に参加して(七月二十七日)

人の力は、とても小さなものですが、一人一人の力が合わされば大きな力、うねりとなります。私自身は、小さく、ささやかなまま、私なりの大切な基幹運動を展開、推進していきたいと考えております。

合 掌

### 基幹運動に感じたこと

和崎 光晴

小樽別院におきまして、七月二十七日に本願寺派布教使の片江哲海師をご講師にお招きし、ご法話を戴きました。

これまで本願寺では、今までの押しつけ教育、宗学及び教学を見直し、誰もが教学研修に新たな道を開いていく考えをお話になりました。その時の資料アンケートに注目してみますと、『お寺は葬儀・法事等のため必要』『これからお寺はどうなっていくのか？』『だんだん仏事に関心が無くなる』といった意見が多いことに驚かされます。更には、『忙しいから、お寺どころではない』、『お寺に不満がある』といった意見までありました。

私が思いますことは、お寺さんと接する時、お互いに『笑顔がない』、『対話がない』といったことが、先程のアンケートの回答に反映されて

いるのではないのでしょうか。

私事で恐縮ですが、毎朝別院のおあさじ（朝六時半から）にお参りをし、境内の掃除をしております。ある時ご輪番さんが、わざわざ外まで出て来られ「おはようございます、毎朝ご苦労さんですね」と、声をかけていただきました。それまでお寺さんというのは、格の違う方達だと思っておりましたから、親しみを持って接していただいたことに、温かさを感じました。



お寺は心のよりどころである、と、聴聞を繰り返して知らされて来

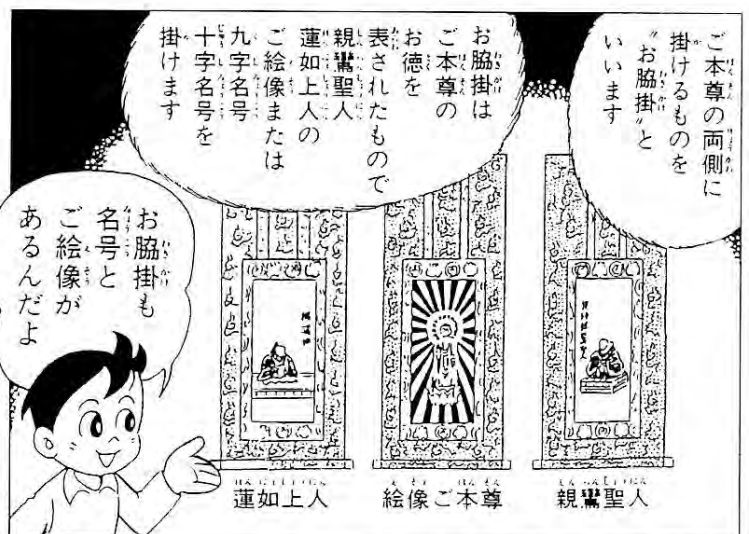
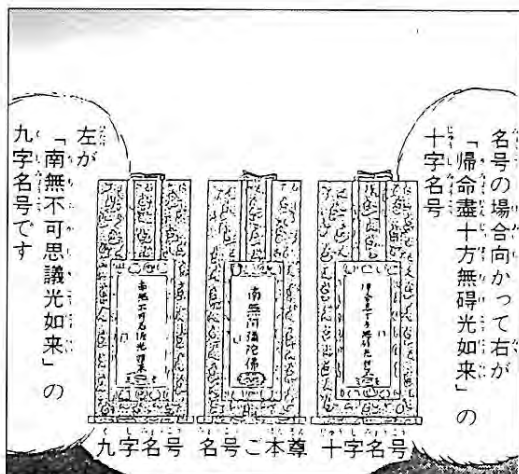
また、浄土真宗のみ教えは、死後の世界を問うていけるのではなく、生かされている私のためであるというこども。そう考えると、お寺に関心が無くなるということは、自分自身に感心が無くなる事と同じだと思います。もっとお寺に関心を持って、共に私発見をしませんか？

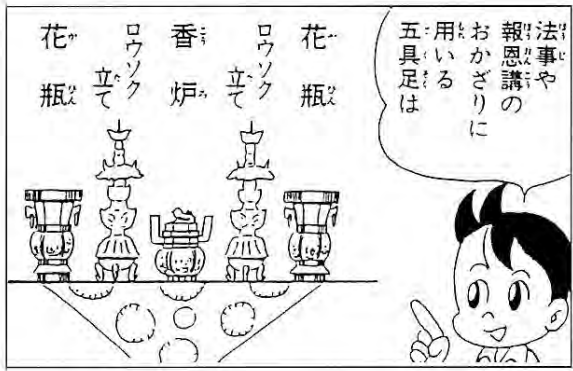
# お仏壇スッキリ運動を実施しましょう！

月忌参りにお伺いしますと、お仏壇のお荘厳が間違っていることが多々あります。まず目に付くのが、お札・位牌・写真・他宗派の本尊などです。現在別院では、「お仏壇スッキリ運動」といたしまして、お仏壇の中の不要なものをお預かり致しております。お仏壇の中を、浄土真宗にふさわしいお荘厳にしましょう。

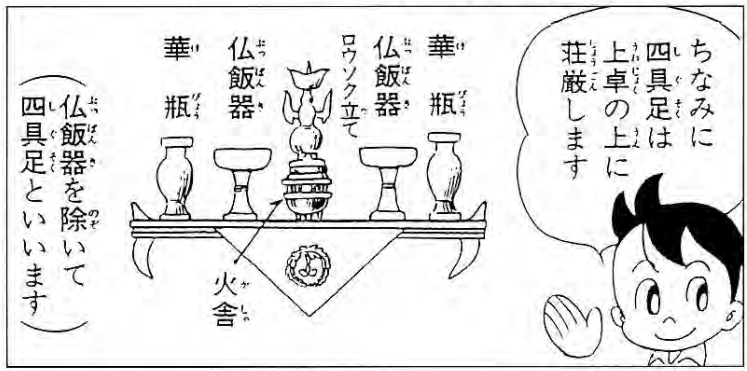
ご不明な点がございましたら、お参りの際か別院までお問い合わせ下さい。

## ご本尊・お脇掛の巻





法事や報恩講のおかざりに用いる五具足は



ちなみに四具足は上卓の上に荘厳します

（仏飯器を除いて四具足といえます）



ご本尊・お脇掛はご本山からお迎えしてください  
また新しくご本尊をお迎えしたら入仏法要をお勧めしましょう



**仏花の巻**



私たちはお浄土の姿を思ってお仏壇をお飾りし、み仏の大きなお慈悲に照らされて、いることを感謝します



そしてこのお仏壇とは阿弥陀さまがおられるお浄土を表したものです



お浄土の姿を説いているお経に「お浄土にはさまざまなお花が咲いている」とあります



それ以外であれば四季折りに咲く美しいお花をお飾りされたらよいと思いますよ



造花や毒花のあるものはお仏壇には不向きです



でもお浄土を表すのならどんな花でもいいってわけにはいかないわよね



ですから仏さまからこちらに向けられて、いる心をいただくためお花の表を私たちに付けて供えるのですよ

本堂修復懇志完納者ご尊名

（平成十六年八月十四日現在）

●天井絵特別懇志

金貳百萬円

宮本 英子

高橋 米蔵

川上 正美

北川 紋二

猪田 格一

小紙 文隆

福島 正紘

竹田 栄治

寺澤 スガ

田村 ヒロコ

杉本 守巧

金壹百萬円

澤田 京子

早見 三郎

宇野 信子

小竹 一央

三箇 一弘

宮本 和彦

辻 啓子

白勢 ヨシ

本間 正一

西野 喜十

柴田 良雄

佐野 喜造

辻井 富士男

田中 修次

宮本 みい

福村 要吉

中川 なを子

佐藤 実

西田 正信

星野 ツヤ

三浦 幸子

川崎 正吉

高岡 フミ

松川 企一

近藤 英夫

牧田 全弘

星野 清成

中川 良一

星野 嘉雄

中屋 徳濃

白勢 ヨシ

野田 明

金六拾萬円

福川 イサ

島本 邦子

森 政一

岩井 良子

駒寄 初枝

辻井 幸雄

大野 友暢

今井百合子

奥田百合子

辻井 富男

佐藤 又一

亀山美恵子

花和 常三

松井美智子

堀田 初子

大西 公子

四方 薫三

五十嵐清彦

佐々木百合子

井田 長女

井上 勇

辻井 聡克

本間 静枝

東 信吾

山田 アサ

山口 庄次

坂野 澄

坂田 知子

石田 京子

本江 淳子

森谷 久子

清水 薫

綿路サガ子

●門信徒懇志

金貳百貳拾萬円

北川 紋二

金壹百貳拾萬円

宮本 みい

井上 栄

金八拾五萬円

平田 晴己

安宅 淳

嶋田 善雄

猪田 昭司

福川 イサ

三井 昭

石墨 仁一

藤原 昇

三浦 幸子

虎谷 賢一

藤沢 尚士

前田 幸一

西森キミ子

赤松 茂樹

飯田 英一

木村ジュン子

見延 昌治

金七拾萬円

見延 昌治

金六拾五萬円

辻本 辰雄

金六拾萬円

牧田 盛夫

佐々木 茂

小倉 一徳

水上美枝子

関 藏

栗林 務

河田 安正

牧田 全弘

前田 清一

森 政一

猪股 喜行

辻 博子

田倉夢恵子

秦 要

高橋 幸彦

齊川 明

齊藤 和也

福井谷高信

山田 孝造

花本 和夫

中舎 光子

鉢呂 幸夫

上木 弘一

本田 壮稜

山本 タマ

荒木 ミツ

小野 哲郎

日和ツヤ子

金森 玲子

三箇 一弘

桶 ノフ

棧敷美恵子

近藤 ふじ

猪田 格一

瀧田 菊一

金四拾五萬円

瀧田 菊一

山下 法子

吉村 治彦

荒井 辰義

荒田 れい

石倉 利夫

石谷多美子

猪田 耕市

猪田 芳枝

今井百合子

岩船 寿

伊藤スエ子

上野 正菜

沖田 ミヨ

加藤 正雄

川元 昇

近藤 英夫

齊藤 節子

佐々木百合子

紫竹 利雄

杉本 守巧

高橋 敏明

貴正 政行

辻 啓子

辻田キミ子

坪田 節子

中嶋 知江

福井八重子

宮本 和彦

森谷 久子

山内 雅一

山下 法子

吉村 治彦

荒井 辰義

荒田 れい

石倉 利夫

石谷多美子

猪田 耕市

猪田 芳枝

今井百合子

岩船 寿

伊藤スエ子

上野 正菜

沖田 ミヨ

加藤 正雄

川元 昇

近藤 英夫

齊藤 節子

深川 正雄

藤野 信一

本間 昭吉

松原 良勝

新木 久子

荒木 宏

五十嵐タマ

宇野 信子

大浦 義教

大竹トモ子

岡川 昭男

北村 潔

桑原 茂夫

伏黒 敬一

是安 正和

高瀬 一彰

高本 幹也

塚田 郁雄

辻 國夫

寺澤 スガ

中村 喜照

馬場 誠二

古澤 ミキ

本間 祥一

最上 英世

本江 正臣

吉田 芳子

石田 博

大坂 敬一	江上 幸一	吉村 公乃	山口 昇	安川 吉松	堀田 初子	福井谷真理子	平野 マキ	久木 まさ	西野 喜十	大門 治雄	田中 秀雄	多賀美枝子	高橋 甫夫	小野寺一夫	小田 誠	梅沢 茂雄	鰐淵 誠	山口 庄次	山岸勇之助	宮本とし子	水上 進	堀畑 義昭	大橋百合子	福村 要吉	中川なを子	倉町 栄一	岩井 良子	三浦 ユキ	成田 治子	鷹野 正義	岩山 豊
鈴木 博子	北飯 セツ	川原 菊代	川口 孝弘	辻井富士男	田中さき代	高橋 勝也	佐野 清一	佐野 喜造	木下 秀子	川脇 ふさ	亀田 よね	金山カツ子	大橋梅次郎	岩井加代子	飯島 重良	吉川 常男	八ツ井健二	毛利 邦夫	本間 正一	本間 静枝	東出 静子	中村 澄	辻井 幸雄	田宮 恭子	新出 廣	佐藤 又一	小林 薫	木原 楨枝	川上 公	奥田百合子	大西 ヒデ
花和 常三	武部 喜夫	清水サツキ	島田 フミ	柴田 良雄	佐藤 新治	坂田 知子	黒川 昭和	木原 清蔵	加藤 精一	奥山 敏三	海老名年行	荒井 義光	赤丸 愛子	鰐淵昭一郎	吉田 寿夫	吉岡 英彦	吉井唯三郎	山上 順子	室谷 ヤス	村林 信三	松井美智子	藤井 武史	畑 範雄	中村 訓敬	中津 サタ	辻井 富男	千坂 弥生	田宮 馨	田中 ハル	高畑 菊美	瀬戸川義明
田中 ミツ	横谷チエ子	福永 浅子	久保 敏男	山田 ひで	林 永正	鎌田 美代	林 千鶴子	大沼 昭雄	宮本 英子	佐藤 利次	吉田フサエ	野田恵美子	野田 明	杉山 榮郎	藤松 義之	福井 千代	長谷川良子	土野 タマ	谷口 與一	田中 修次	倉野 幸夫	掛端 シズ	岡 満	今堀みえ子	石塚ミサヲ	阿波カヲル	安田 クニ	室谷 和嘉	村木 誠一	宮崎 愛子	松村仙太郎
古瀬 澄	児玉 京子	川崎 正吉	大原 美佐	木下 清	及川 絹江	四方 薫三	山崎スミ子	志村 和雄	柴田 浩造	佐々木朋子	河野末五郎	工藤 忍	森 吉勝	松本 良造	馬久地チヨ子	長谷川 勉	西田 正信	中島 信子	酢谷 英男	新谷富美子	紅露 文美	加藤 キミ	境 君子	村田 キミ	大西 公子	鈴木 定夫	松山 政義	太田 圭信	鍵市 勝秀	悦永 勇	松川 企一
北村美智子	菊 豊	山田 藤夫	平口山紀美子	福田 ミヨ	長谷川健治	長下部キミ	宇野 鏝一	鳴海 正一	高橋 米蔵	佐川 秀逸	斉藤 光枝	松浦 英尾	清水平太郎	深尾トメ子	松本 耕一	福島 正紘	早見 三郎	大野 トモ	宇野 弘昌	渡辺 てる	竹田 道治	清水喜代子	五十嵐清彦	田邊 ナツ	鎌田 省三	徳光 敏子	佐藤 久行	浅田 敦蔵	山田勇太郎	山田 清和	安川 雄司
大村カツ子	宮川 省吾	黒田 康子	宮下 雄宇	竹内ハル子	滝田 章治	谷本 八郎	高島 茂	竹内侃二郎	岡田 菊江	井田 長女	羽崎 輝	駒寄 初枝	吉岡佐代子	久住三ツ井	能町 富雄	夏伐 静子	高橋 博子	高橋 清二	清水 幸延	佐藤 嘉晃	小前真智子	木下 義明	岡田美津枝	室谷美美子	東田 正一	西森 治美	中西 妙子	古川 治	相馬 樺子	上出 一雄	山部 博幸
藤 隆	中川 良一	徳山喜恵子	矢崎 友子	坪田 一則	逢見 輝義	井上千枝子	笠原 朝雄	真田 テル	伏黒 キク	布目 寿子	青山 聡	内田 サト	吉田 光弘	伊藤 淳介	坂野 澄	高岡 フミ	阿部 恒久	荒井 慎一	竹田 栄治	西田 正雄	井上 勇	田中 宏	小紙 文隆	吉村 誠治	高野 広	萩野 稔	高橋 愛子	高 敏雄	日和 裕子	折橋 知代	富田 洋平

- |       |       |       |        |       |       |        |        |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 齊藤 毅  | 井田 成雄 | 曾場 利夫 | 松本 信雄  | 山田 達治 | 東井 紀子 | 濱本 清子  | 金七百萬円  |
| 能町 瑛  | 牧田カオリ | 笹岡 正美 | 堀 正勝   | 宮本 キミ | 三橋 靖彦 | 榎 勝子   | 波多野昭方  |
| 浅野 彰夫 | 田中 信一 | 石黒 岩雄 | 平木 昇   | 竹脇 義洋 | 牧 俊明  | 谷村 壽美  | 高柳 廣章  |
| 長 忠   | 増田 チョ | 守山 一彦 | 竹内 カツ  | 栗林 榮一 | 山田 武雄 | 佐々木信夫  | 仏教婦人会  |
| 上野 操  | 石田 丈士 | 本間 昭作 | 砂長谷一雄  | 坂下 郁子 | 吉田 尚孝 | 五十嵐靖男  | 金五十拾萬円 |
| 福井 秀昭 | 小竹 一央 | 伊賀 うめ | 内田 チャ  | 小林登喜子 | 齋藤チヨノ | 山口 弘治  | 金五十拾萬円 |
| 福井谷 始 | 桑山健一郎 | 小川 一允 | 齋田 義孝  | 小林 修一 | 大嶋ケイ子 | 中村 幸男  | 仏教壮年会  |
| 畠山 忠一 | 西村 裕司 | 野坂 トサ | 西田 清治  | 川崎 信一 | 中村 純一 | 山本 秀子  |        |
| 高頭 栄次 | 福井谷 茂 | 上野 修位 | 鯉沼 勇一  | 夏伐 勲  | 牧田 英世 | 三寺 正雄  | 金壹拾六萬円 |
| 吉川 忠志 | 安達 節子 | 松岡 幸三 | 新井 重義  | 木下 正紀 | 河合 弘  | 佐藤友伎子  | 日曜学校OB |
| 小林 雄進 | 清都 二三 | 松山 博  | 矢倉 君子  | 眞屋 敬信 | 東出 正明 | 大場 孝子  | 甚六会    |
| 伊藤 祐子 | 中山 逸子 | 長谷川 博 | 脇本 ヤイ  | 川上 正美 | 宇野 博人 | 奥田 寿子  |        |
| 高橋 悦子 | 田中 宏宣 | 加藤 政幸 | 福井谷をり江 | 澤田 幸治 | 中屋 徳濃 | 廣本 純子  | 金壹拾萬円  |
| 紙谷 ハツ | 佐藤 照子 | 穴水 きよ | 平田 博治  | 辻井百合子 | 田中まど子 | 桑名 英一  | 十九日講   |
| 金田 芳明 | 三吉 衛  | 高田多美子 | 箱石 末雄  | 坪川總一郎 | 玉置 一男 | 小野 英章  | 唯信講    |
| 西尾 ミヨ | 片桐 理一 | 荒谷 則幸 | 三上 勝博  | 笠原 勝美 | 杉本 礼子 | 中川 祥子  | 樹心会    |
| 安藤トモ子 | 薬師 正雄 | 村田 浩一 | 佐藤トシ子  | 石丸 澄子 | 殿村 吉昭 | 堀 宏治   | 法友会    |
| 永井 勝子 | 北村 直行 | 佐々木孝司 | 池田ひろ子  | 木下 昭伸 | 村部ユリ子 | 有田 明彦  | 彰心会    |
| 谷 七太郎 | 吉川 秀策 | 柄澤 進午 | 萩田ツヤ子  | 朝日 博  | 高橋 巖  | 瀧本 マサ  |        |
| 本江 テル | 山本 一夫 | 安達 正良 | 若松 英一  | 鶴林 敬子 | 金丸 節子 | 植木 和夫  | ●他門徒懇志 |
| 小梅 安市 | 増田 又喜 | 宮崎 享子 | 木谷 ツル  | 進藤 静雄 | 西田 誠  | 武田 延子  | 金五拾萬円  |
| 板垣 正人 | 宇波奈津代 | 花和 正賢 | 北村 雄一  | 間形 房雄 | 松岡 連子 | 松山 寿子  | 山内シズ子  |
| 他屋 恵男 | 高松 毅  | 森下壽太郎 | 前田 郁子  | 中 関蔵  | 山下 静江 | 鹿取治三郎  |        |
| 石川キミエ | 高柳 昭吉 | 大坪 シズ | 牧 正起   | 森野 基子 | 唐澤 弘子 | 松本 善之  | 金四拾萬円  |
| 高田 良子 | 星野 輝男 | 中曾 キミ | 山崎 善夫  | 川崎 幸一 | 山下八重子 | 藪 千加子  | 名取美枝子  |
| 伊東 恭子 | 岡村 光代 | 亀田 誠二 | 加藤 浩   | 渡辺 智恵 | 石墨 久  | 坪田 京子  | 多賀 修   |
| 篠田 洋三 | 片桐 康彦 | 山上 正信 | 吉田 えい  | 豊田 義明 | 岡田 武  | 長谷川泰子  |        |
| 山岡 幸子 | 田中 末一 | 佐伯 尚  | 風下 淳子  | 相良 顕三 | 木村 みよ | 東 公    | 金貳拾萬円  |
| 河笠 光男 | 横田テル子 | 木原 明  | 和田 憲一  | 中山 かの | 金吉 ワキ | 吉田作之助  | 中井 留子  |
| 花田 徳治 | 辻本 三郎 | 嶋 ウメヨ | 清水 薫   | 武藤 賢司 | 佐藤 秀子 | 二丹田恵美子 | 小野田儀信  |
| 池田 良治 | 竹田 俊彦 | 成瀬 澄子 | 宇野 克世  | 神田 幸尚 | 安彦 トキ |        | 佐藤友伎子  |
| 小林 宣勝 | 伊沢 直人 | 荻野 美晴 | 布村 元一  | 神原 當恵 | 石塚 安子 |        | 白崎 義朗  |

●特別協賛懇志

- |        |        |       |       |        |
|--------|--------|-------|-------|--------|
| 白崎 義朗  | 佐藤友伎子  | 小野田儀信 | 中井 留子 | 金貳拾萬円  |
| 多賀 修   | 名取美枝子  | 金四拾萬円 | 山内シズ子 | ●他門徒懇志 |
| 金五拾萬円  | 植木 和夫  | 武田 延子 | 松山 寿子 | 金五拾萬円  |
| 彰心会    | 法友会    | 樹心会   | 唯信講   | 十九日講   |
| 金壹拾萬円  | 廣本 純子  | 奥田 寿子 | 大場 孝子 | 佐藤友伎子  |
| 日曜学校OB | 甚六会    | 山本 秀子 | 三寺 正雄 | 佐藤友伎子  |
| 金壹拾六萬円 | 日曜学校OB | 甚六会   | 中村 幸男 | 山口 弘治  |
| 金五十拾萬円 | 五十嵐靖男  | 佐々木信夫 | 谷村 壽美 | 高柳 廣章  |
| 仏教婦人会  | 高柳 廣章  | 波多野昭方 | 濱本 清子 | 榎 勝子   |
| 金七百萬円  |        |       |       |        |



瀬戸川鶴雄  
長谷川好明  
姫野美耶子  
平山ツル子  
杉本 禮子  
永森 静子  
宮口 久子  
脇本 悦子  
花坂 健三  
佛田家  
高頭 妙子  
岡部 満男  
大野アイ子  
吉田トネ子  
佐藤久四郎  
高橋 秀男  
森 キミ  
西村 君雄  
宮崎 吉蔵  
加藤 新一  
小池 健二  
宮崎 晴通  
坂井テツ子  
鹿島土師子  
三浦恵津子  
藤田 秀美  
本田 克巳

金壹拾萬円

大江 智朗  
八田 清治

金五萬圓

西蓮寺（長崎県）

金參萬圓

中野 政一  
瀬川 お幸  
関川 澄子

金貳萬圓

稱名寺（東京都）

岡 玲  
小坂 達尚

金壹萬圓

内藤 良照  
白川 了信

佐和田美希  
武藤 幸久

常通寺（東京都）  
松崎 美弥子

金五仟円

清水直次郎

●崇敬寺院懇志

金壹百六拾萬圓

勝圓寺（札幌組）  
真光寺（後志組）

金壹百貳拾萬圓

西教寺（胆振組）

金壹百萬圓

後志組  
光昭寺（後志組）

東林寺（後志組）

富貴寺（後志組）  
光超寺（後志組）

金八拾萬圓

浄楽寺（留萌組）  
法雲寺（宗谷組）

正行寺（後志組）  
真龍寺（後志組）  
真正寺（後志組）

金六拾萬圓

西教寺（胆振組）

本念寺（後志組）  
昭覚寺（後志組）  
光寿寺（後志組）

光雲寺（後志組）

金五拾萬圓

光雲寺（後志組）

金四拾萬圓

大成寺（後志組）  
永福寺（留萌組）  
専念寺（後志組）

明善寺（後志組）  
乘念寺（後志組）

明現寺（留萌組）  
西隆寺（後志組）

金貳拾萬圓

無量寿寺（後志組）  
善勝寺（留萌組）

信楽寺（留萌組）

法昭寺（胆振組）  
廣徳寺（宗谷組）

大成寺（宗谷組）  
明徳寺（留萌組）

光徳寺（後志組）  
浄光寺（宗谷組）

●別院職員懇志

金壹百五拾萬圓

片山 晃英

金壹百拾萬圓

西川 達恵

武藤 三孝

金壹百萬圓

金八拾萬圓

鷺頭千津子  
村上 隆昌

金六拾萬圓

梶 純信

金五拾五萬圓

磯村 真一

金四拾萬圓

村田 法道

猪口 大悟

温井 卓生

金參拾萬圓

相馬 早苗  
渡部 恵

（敬称略）

八月十五日以降の完納者ご尊名は次号以下に順次掲載致します。



## 天井絵懇志のお願い

ご好評頂いております天井絵は、現在順調にお申し込み頂いておりますが、数に限りがございます。すでにご承知の通り、出来るだけ多くの方にご協賛いただきたく三名までの連名もお受けいたして、定数になり次第締め切らせていただく予定でございます。

この機会に是非、個人またはご親戚・ご友人とご協賛いただきますようよろしくお願い申し上げます。

# 広 報

## おつとめ教室のご案内

現在「おつとめ教室」では、京都のご本山や別院で毎日おつとめをいたします「正信偈（しょうしんげ）・ご和讃」をはじめ、毎月15日と16日の午後1時30分からの、「宗祖親鸞聖人月忌法要」のおつとめを練習しています。

ほとんどの方が、「おつとめ」と聞いただけで敬遠されますが、基本さえおさえれば簡単に覚えられると思います。また、お仏壇の荘厳（おかざり）の仕方や、法事や葬儀の際の心構えなど普段聞けないことを解説しています。

どうぞ、お誘い合わせの上ご参加下さい。

（詳細は、別院の磯村22-0744まで）

## 連研とは？

- ◎世間には数多くの宗教がありますが、めざすところは皆同じなのではないのですか。
- ◎お仏壇にお参りするとき、先祖や家族のことをお祈りしますが、それでもよいのですか。
- ◎国のために戦死された方を国が祀ることは当然ではないか。靖国神社を国家護持することがなぜいけないのですか。

さて、あなたは上の問いに対して答えることができるでしょうか？このような問いを、他のお寺のご門徒の方々と話し合いをするのが「連研」です。

連研では、毎月一回（第三土曜日）開かれ、一年を通して会場（小樽市内のお寺）をかえながら、先程の問いの他に日常のおつとめ、仏教讃歌・仏事等について学ばれています。また、修了された方の中には、更に知識を深めるために京都のご本山で研修を受けられる方もいらっしゃいます。

この機会に是非、あなたも門徒の輪を広げてみませんか？



（詳細は、別院の磯村22-0744まで）

全メーカー家電品販売、修理  
住宅設備機器販売、リフォーム  
冷暖房設備・ロードヒーティング・融雪設備

お客様に愛される信頼とサービスの店  
有限会社 **西森電機商会**

小樽市天神1丁目10番3号  
TEL(0134)24-0503  
FAX(0134)32-2217

屋根張替板金工事・屋根塗装工事  
建築板金工事・リフォーム工事

**猪田板金加工所**  
猪田 昭司

〒047-0031 小樽市色内三丁目7番4号  
電話(0134)22-8790  
FAX(0134)22-8790

葬 儀

株式会社 **博禮社**

〒047-0024 小樽市花園3-25-15  
電話（代表）23-0246番  
■24時間営業■

## ご案内

### お 晨 朝

毎日 午前6時30分

### 常 例 布 教

毎月7日～11日 午後2時  
（法要終了後）  
13日～16日 午後2時  
（法要終了後）

### 仏教青年会

毎月1回 午後7時30分

### 仏教婦人会

毎月15日 正午（おときあり）

### 仏教壮年会

毎月6日 午後7時

### おつとめしま専科!

毎月2回（火曜日） 午後2時

### ボーイスカウト

毎月1回（土曜日） 午後2時

### 日曜仏教講座

毎月1回（第3日曜日）  
午前9時30分

### 十 九 日 講

毎月19日 正午（おときあり）

### 各説教所の案内

- 奥沢説教所  
樹心会 5日 午後7時  
唯信講 10日 正午
- 若竹説教所  
彰心会 7日 午後7時
- 緑説教所  
無量講 9日 午後6時
- 新光説教所  
法友会 13日 午後6時

## ご遷仏法要のご案内

この度、皆様の多大なご懇念によりまして、ご本堂の第一期工事が無事終了いたしました。しかしながら境内地整備の第二期工事を控えておりますので、引き続きご協力頂きますようよろしくお願い申し上げます。

また、第一期工事終了に伴い、今回の報恩講にご遷仏法要（ご本尊を、仮本堂からご本堂にお移しする法要）が併せておつとまりになります。お誘い合わせの上、お参り下さいますようお願い申し上げます。

日 時 平成十六年十月十三日（水）

十二時三十分（仮本堂）

庭 儀

十三時三十分（ご本堂）

引き続き、帰敬式（おかみそり）

この度、九月一日付をもちまして函館別院へ転勤する事になりました。

昭和五十五年七月、小樽別院に奉職させて頂き、二十四年二ヶ月の間公私にわたり、ご指導、ご厚情を賜りましたこと、有り難く御礼申し上げます。

在職中色々な事が思い出され、その度事に考え深くなります。今後は、ここで学んだことを励みに、ご法義繁盛のため精進させて頂く所存でございます。函館へお立ち寄りの折には是非とも別院へおいで下さい。楽しみにしております。

皆様におかれましては、お元気でお念仏相続いただく事、心よりお願い申し上げます。本当にありがとうございます。

村上隆昌

### ●3分間の心のともしび

小樽別院 **テレホン法話**

24時間  
いつでも  
どうぞ

**TEL 27-1616**



# みんな 小樽幼稚園 仲良し



～まこと(いのち)の保育を行ないます～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」などを育てるよう保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

11月より、願書受付が始まりますので、ご近所・皆様お誘い合わせの上、是非一度見学にお越し下さい。宜しくお願いします。

- ☆**保育時間** → 月曜日～金曜日（夏期 8:40～14:00 / 冬期 8:40～13:30）
- ☆**昼食** → お弁当～週3回 / 給食～週2回（パン食 / 米食）
- ☆**預り保育** → 月曜日～金曜日（17:30迄）行います。（15:00迄は無料 / 降園バス有）
- ☆**プール遊び** → 年間を通して、週1回温水プール遊びを行っています。
- ☆**英会話** → 月2回年長のみ行います。
- ☆**送迎バス** → ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆**主な行事** → 花まつり・降誕会・運動会・お泊り会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちゃつきなど。

## 園児募集

募集園児	3歳児（H13.4.2～H14.4.1生まれ）	20名
	4歳児（H12.4.2～H13.4.1生まれ）	50名
	5歳児（H11.4.2～H12.4.1生まれ）	30名
願書配布	平成16年10月15日（金）から	
願書受付	平成16年11月 1日（月）から（14:00～17:00）	
	※11/1以降受付希望の方は、事前にお電話下さい。	
1日体験入園	平成16年10月23日（土）10:00～11:00	26日（火）14:00～15:00
公開保育	平成16年10月19日（火）・25日（月）9:30～12:00	



## いちごぐみ ならし保育

入園前のお友達！  
週に1度、幼稚園に来て先生やお友達と楽しく遊びましょ

- 対象** 満2歳以上 就園未満
- 日時** 週1回 火曜クラスと木曜クラスあり（10:00～12:00）
- 金額** 1回500円
- 定員** 1クラス15名
- 内容** 自由遊び・絵画・工作・リズム遊び・戸外遊び など
- 申込み方法** 園にあります申し込み用紙に必要事項を記入して頂きます  
※ 来年度の受付は、12月より行います。詳しくは、園までお問い合わせ下さい。



10月から街頭に園児募集のポスターを掲示します！

学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

**小樽幼稚園** TEL **0134-22-6536**  
FAX